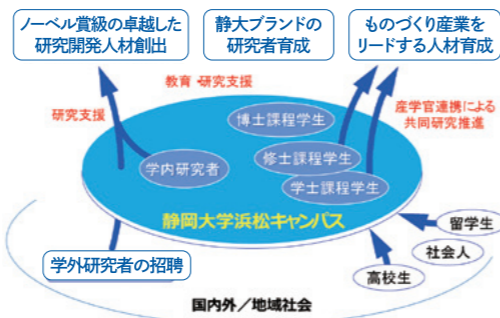


静岡大学浜松キャンパス100周年記念事業へのご寄附のお願い

おかげさまで、静岡大学浜松キャンパスは、2022年に工学部の前身である浜松高等工業学校設立公布から100周年を迎えます。本学ではこの100周年を記念して、未来を志向した教育・研究、産学官・社会連携を強化するため、下記の4つの事業に取り組んでまいります。つきましては、この場をお借りし、あらためましてこれらの事業へのご理解とともに、ご協賛・ご寄附のお願いを申し上げます。

- ① 卓越した研究開発人材育成
- ② 静大ブランドの研究者育成
- ③ ものづくり産業をリードする人材育成
- ④ 記念誌出版

事業推進委員会 会長 石井 潔 (静岡大学長)
 事業推進後援会 会長 草間 三郎 (元セイコーエプソン株式会社社長)
 実行委員会 委員長 川田 善正 (工学部長)



■ 寄附の方法 ■
 100周年記念事業の特設サイト (<http://www.shizuoka.ac.jp/hamacam100/>) より、静岡大学未来創成基金「【特定基金事業】静岡大学浜松キャンパス100周年記念事業」として、ご寄附ください。

表紙解説 ～図書館前の階段がリニューアル～

令和2年3月に静岡キャンパスの図書館前階段が新しく扇形に生まれ変わりました。階段の途中には、一塊の御影石(100トン)から造られた時計塔モニュメントがあります。こちらはすでに静岡キャンパスのシンボルになっておりますが、今後このモニュメントと扇形の階段が、キャンパスに集うすべての学生・教職員にとって、何かあった時ふと帰りたい、心の拠り所のような場所になることを願っています。



編集後記 今号では本学の新型コロナウイルス感染症への対策や、実際に行っている社会への発信についてご紹介しました。また、オンライン授業について学生・教員の生の声が目とわかる広報学生委員会のページは、コロナ禍に

おける現状をよく表しています。数理・データサイエンスをはじめ、研究者の活躍や研究室の詳しい紹介をご覧いただき、本学への理解を深めていただくと共に、さらなる飛躍に期待していただければと思います。

ACCESS MAP



静岡キャンパス 静岡市駿河区大谷(おおや)836

●交通機関 (バスにて所要時間約25分、1時間に5〜7本運行)
 JR静岡駅北口のしずく号シャトルバス88番乗り場から、美和大谷線「静岡大学」行き、「東大谷(静岡大学経由)」行き、「ふのくに地球環境ミュージアム(静岡大学経由)」行きに乗り、「静岡大学」又は「静大片山」で下車。美和大谷線「東大谷」(静岡大学を經由しないもの)行きに乗りした場合、「片山」で下車。



浜松キャンパス 浜松市中区城北(じょうほく)3-5-1

●交通機関 (バスにて所要時間約20分、1時間に10本程度運行)
 JR浜松駅北口(バスターミナル)15、16番乗り場から乗車、遠鉄バス全路線「静岡大学」下車。

SUCCESS

SHIZUOKA UNIVERSITY
 CURRENT AFFAIRS &
 CONNECTIVE PAPER FOR
 EVERY GRADUATE,
 STUDENT &
 STAFF



CONTENTS

〈Topic 1〉
 新型コロナ 静岡大学の対応

〈Topic 2〉
 「未来社会デザイン機構」が始動

〈特集〉
 数理・データサイエンス教育がスタート

静大生、オンライン授業どうしてた?

新型コロナウイルス感染症に伴う 静岡大学の対応

■ 学生を支援する取り組み

学修支援

- ① 4月30日からすべての授業で在宅（オンライン）授業を開始し、早期から学修機会を確保しました。
- ② 6月8日からは感染防止対策が講じられていることを前提に、体育や語学、実習など一部の授業で対面授業を開始しました。
- ③ 自宅にオンライン授業を受講する環境のない学生などのために、空き教室を開放しています。



オンライン授業を受ける学生のために空き教室を開放

進路・就職支援

- ① 「就職相談室」を対面型からオンラインに変え、キャリアカウンセラーに相談できる体制を整備しています。
- ② 開催を予定していた就職ガイダンスのうち、動画配信が可能なものを大学教育テレビジョンで配信しています。

学生生活支援

授業料免除や貸付を実施

- ① 家計が急変した世帯の学生で、免除基準に該当した場合は、通常の免除枠と別に優先して授業料免除の対象になります。
- ② 新型コロナウイルスの感染拡大で経済的に困窮する学生のため、静岡大学未来創成基金の事業として、必要な資金の一時貸付を実施しています。

静岡大学未来創成基金の貸付金
【支援対象】100名を予定
【貸付金額】10万円
【利 子】無利子
(2020年9月18日現在)

情報発信

- ① 本学の感染症対応を集約したポータルサイトを設置し、現況に応じた正しい情報を一元化しました。
- ② 在宅授業に関するワンストップサイト（緊急対応サイト）を設置し、週末でも「よくある質問」に回答するチャットボットをテスト導入。 学部の特性に合わせた情報は学部ホームページで発信しています。

課外活動

- ① 学生の健康・安全のため、「静岡大学課外活動等活動指針（新型コロナウイルス感染症対策）」を策定し、状況に応じ随時見直ししながら、課外活動を行っています。
- ② 本学団体が主催するイベント、大会及び試合、合宿、学外への課外活動施設の貸し出しは原則中止です。

■ 入試広報に関する取り組み

オンライン相談会

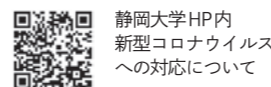
全国初の県内国立4大学連携による高校生向けオンライン進学説明会・相談会が、静岡大学全学入試センターの呼びかけで実現しました。例えば、群馬県から参加した高校生の「理系から文系に変えたのですが、経済学以外に数学を活かす学部・学科はありますか」という質問には、「人文社会科学部なら社会学科で活かせます。情報学部の行動情報学科という道もありますよ」とアドバイスをするなど、受験生の多岐にわたる悩みに応えました。担当の雨森聡准教授は「普段接触できないエリアにも情報発信ができた。コロナ禍で他大学の動きが活発ではない6月段階に開催されたことに感謝の声も多く寄せられた」と成果と意義を語りました。



高校生・受験生対象の進学説明会・相談会
【開催日】6月28日
【申込数】633名
高校教員対象の入試説明会
【開催日】6月24日、25日
【申込数】108校

オープンキャンパス

今年の夏季オープンキャンパスは、対面式ではなく、動画を中心にオンラインで実施し、各学部・地域創造学環が特設ウェブサイトですべての魅力を伝えました。



このページの内容は、2020年9月18日現在の情報です。 本学の全活動は「新型コロナウイルス感染症における静岡大学活動指針」によって定めており、感染状況によって見直されていますので、最新の情報は、上記QRコードでご確認ください。



SDGs達成に向けた活動を総合的に進める「未来社会デザイン機構」が始動

本学では、大学の地域貢献力をより高めるために、持続可能な開発目標「SDGs (Sustainable Development Goals)」の達成に向けた活動を総合的に進める体制を構築し、多様性に満ちた未来社会の構築を目指した分野横断的な教育研究を推進する上での核となる組織として本年4月に「未来社会デザイン機構」を設立しました。

同機構には、防災・減災社会の実現を目指す既存の「防災総合センター」と地域人材育成や地域課題解決に取り組む既存の「地域創造教育センター」を再配置すると共に、5つの部門(ESD・国際化推進、法実務、ダイバシティ推進、環境変動適応、生物資源高度化利用)から構成する「サステナビリティセンター」を新たに設置し、持続可能な社会の実現に向けて、複雑な社会的課題に多面的・戦略的にアプローチし、SDGsの17の達成目標のすべてに組織的・統一的な取組を進めていきます。

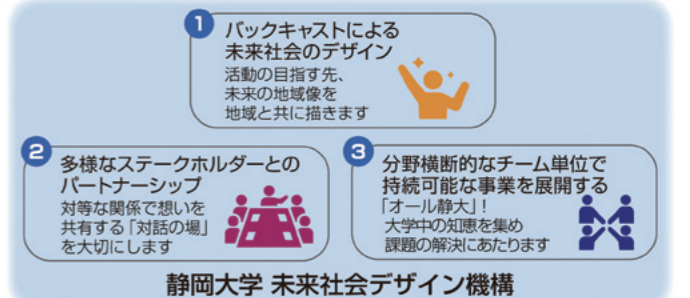


未来社会デザイン機構を設置

地域 × 静岡大学

未来社会デザイン機構は、社会の多様なステークホルダー（自治体・NPO・企業・市民団体など）と共に望ましい未来社会についてビジョンを描き、それを共有し、解決すべき課題を明確にして、複雑な地域課題の解決のために協働します。

そのため、地域のみなさんとの徹底的な対話を重視し、「支援者－被支援者」の図式を超え、地域コミュニティと対等なパートナー



SDGs (エスディーゼス)とは：持続可能な開発目標
2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。

シップを築き上げます。 課題解決に向けては、文理融合の研究領域横断的なチーム「オール静大」で構成し、多面的・包括的な解決アプローチを採用します。

持続可能な社会とすべての人のウェルビーイング(幸福)を目標に、多様なステークホルダーとの対話を進め、共創的なパートナーシップを確立し、未来社会を共にデザインします。

東部サテライト「三余塾(さんよじゅく)」

2020年7月、伊豆半島の中央部、伊豆市青羽根に未来社会デザイン機構が運営していく静岡大学東部サテライト「三余塾」を設置しました。「三余塾」は幕末期の伊豆松崎に土屋三余が開設した塾で、明治日本を支えることになる多数の人材を育てました。その精神を受け継ぎ、その名を東部サテライトの副称としました。 人と人との出会いと学びと協働の場を提供・運営していきます。



旧狩野幼稚園舎を東部サテライトとして活用する



東部サテライト開所式

- 協働のパートナーを見つける場 「人と人」「ニーズとシーズ」「プロジェクト同士」を結ぶ
- 学びの場 市民や小中高生に対する公開講座を定期的に開催、地域づくりに役立つ講座も提供
- 情報を得る場、仲間に出会う場 新しい出会いや自由な対話があり、出かけやすく居心地のよい場所

チベット難民の若年層による生活世界の形成

山本 達也 YAMAMOTO Tatsuya —— 人文社会科学部社会学科准教授

戦争の世紀と言われる20世紀は、難民創出の世紀でもある。チベット難民は、1959年に故郷を追われて以来60余年、インドおよびネパール亡命先で暮らし、2世以降の若い世代はチベットの風土や環境を直接知らない。そこで、彼らがホスト国でどのように生活世界を形成してきたのか、以下の二点を重点的に研究している。



① **難民として生きるか、国籍を取るか**
 難民としての地位を堅持するか、インドおよびネパール国籍を取得するかは、難民社会を形成して60年を経た現在、喫緊の課題となっている。国籍をめぐる若者たちの意思決定を、難民社会およびホスト国の社会経済的要因と絡めて分析している。

② **難民によるポピュラー音楽の生産・流通・消費**
 難民が作り出すポピュラー音楽は、彼らの現状理解や願望、さまざまな想像力がぶつかり合う媒体である。音楽に対する嗜好の変遷、正当化の理論等を、生産・流通・消費の観点から追うことで、若者たちが描く難民社会の過去・現在・未来の抽出を目指している。

チベット難民若年層とともに



難民の暮らしは、日本に暮らす私たちに想像のできないものかもしれません。しかし、彼らは彼らなりに自分たちの暮らしを作り上げています。特に若者にとっては、ポピュラー文化などが、生活世界を構築する上で重要な媒体となっています。私が専門とする文化人類学は、自分と縁遠い他者との差異を肯定し、今とは別の私たちの生き方を考え、提示する学問です。この研究を通じ、皆さんの難民像や他者をめぐる考え方に揺さぶりをかけ、ともに模索できればと考えています。

細菌は微粒子をつくる精密装置！

田代 陽介 TASHIRO Yosuke —— 工学部化学バイオ工学科講師

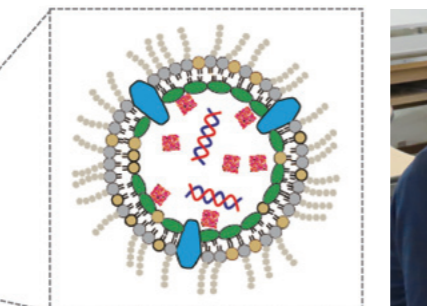


大きさが1マイクロメートル(1mmの1000分の1)程度の微生物である「細菌」を利用して、数十ナノメートル(1ナノメートル=1mmの100万分の1)の微粒子の生産に取り組んでいる。

地球上に生命が誕生したのは40億年前。それから生物は環境変化に耐えながら進化してきました。わずか1マイクロメートル程度の細菌にも、40億年分の謎がまだたくさん潜んでいます。学生には、あらゆる角度からその生命機能を紐解き、世界で誰も見えない現象を発見する研究の楽しさを体験してほしいと思っています。

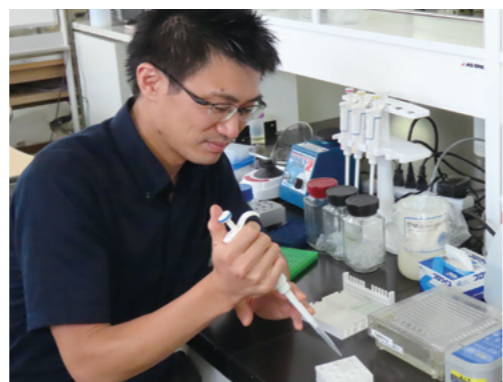
細菌を含めた細胞は、様々な化学反応の場となる精密装置と捉え、細菌の遺伝子を操作することでその精密装置を改良し、機能性微粒子の製造工場として細菌を利用している。

当研究室では、細菌が微粒子を「なぜ?」「どのように?」形成するのかを解明する基礎研究と、微粒子の新たな利用を開拓する応用研究を遂行している。



遺伝子組換え細菌による膜小胞の過剰形成。膜小胞はワクチンやドラッグデリバリーシステムへの応用が期待される。

膜小胞にはDNAやタンパク質、多糖など細菌由来の物質が濃縮されている。



全固体電池の開発に「結晶性有機物」を利用

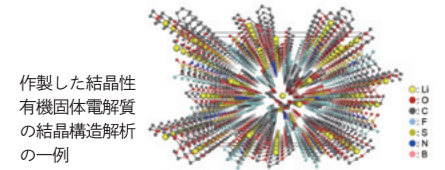
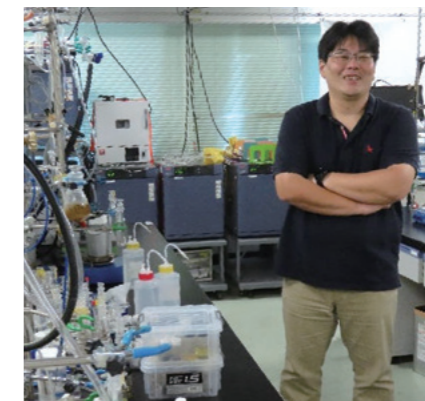
守谷 誠 MORIYA Makoto —— 理学部化学科講師

革新的蓄電池として固体電解質を用いた全固体電池が大きな関心を集めている。全固体電池の開発には、優れた特性を持つ固体電解質を得ることが必要だが、そのためには、イオンの通り道となる伝導パスを固体中に構築することが重要である。

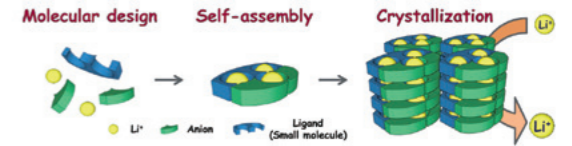
従来、このような研究は、酸化物や硫化物といったセラミックス(結晶性無機物)を中心に進められてきた。ただし、セラミック電解質は粉体試料であるが故に、既存のリチウムイオン電池の量産プロセスを適用できず、新たな電池製造プロセスを確立しなければならない。

これに対し、私たちは分子が格子中で規則的に配列した「結晶性有機物」を利用したイオン伝導パスの構築を試みている。有機物が持つ適度な柔軟かさや、加熱時に融液として扱えるといった特徴

を活かしながら、イオン伝導パスの構造を分子レベルで精密に制御することにより、電解質の特性向上に取り組んでいる。固体電解質としてほとんど注目されてこなかった「結晶性有機物」にあえて目を向けることにより、高い成型性を有しながら特性にも優れた新たな電解質材料を開発することを目指している。



作製した結晶性有機物電解質の結晶構造解析の一例



私は、大学に職を得てから固体電解質の分野に参入した後発組。既報材料の改良に取り組むより、よそ者ならではの発想で新しい領域を探そうと考えました。私が注目した結晶性有機物は、電解質材料にはならないというのが一般的な認識ですが、結晶化を利用したイオン伝導パス形成技術を構築し、選択的ナリチウムイオン伝導性を示す結晶性有機物を得ることに成功しています。今後、研究をさらに進め、電解質材料として高い特性を示す新物質を開発していきます。

木質材料の利用方法と評価方法の開発

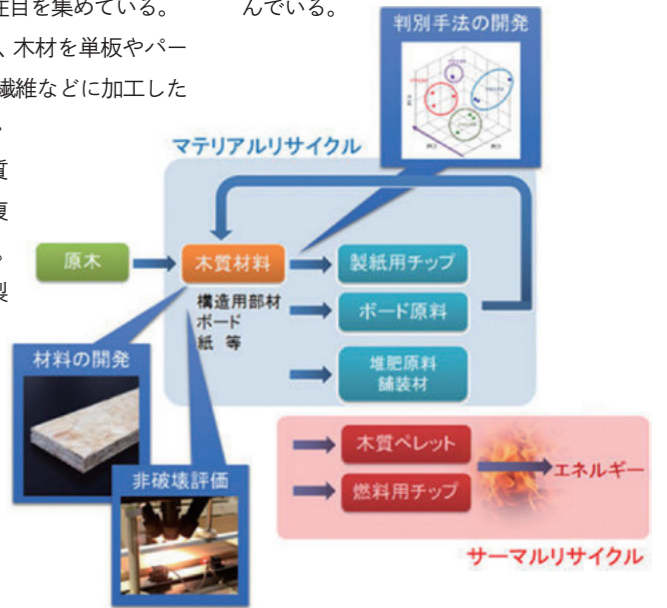
小堀 光 KOBORI Hikaru —— 農学部木質科学コース助教



私たちの生活は建材や家具、紙など、木材を原料とする製品にあふれている。近年では木材とプラスチックの複合材料や、セルロースナノファイバーなど木材由来の新しい素材も登場し、注目を集めている。

私たちの研究室では、木材を単板やパーティクル(木材小片)、繊維などに加工した「エレメント」を接着・成形して製造した木質材料や、他素材との複合化を研究している。実用化に向けては、製

造工程における品質管理、木質材料の耐久性の担保、リサイクル時の選別が不可欠のため、光や振動を用いて木質材料を評価する「非破壊計測」の手法の開発にも取り組んでいる。



木材は地球上で数少ない、大量かつ持続的に供給できる天然資源の一つです。エレメントの大きな木質材料から小さな木質材料へとリサイクルをして、木材の材料としての寿命を延ばしたり、おが粉や樹皮などの残渣を焼却せずに利用して、木材資源のさらなる有効利用に繋がります。私たちは「木材」を切り口に、新たな利用方法の探索や評価手法の開発を通じて、持続可能な社会の構築に貢献したいと考えています。

初年次向けにスタート！ 数理・データサイエンス教育

Introduction to Mathematical and Data Science

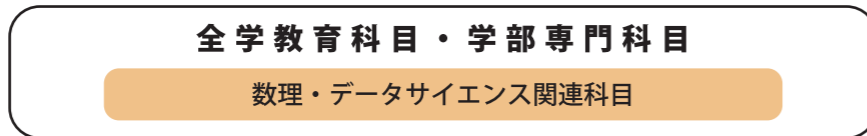
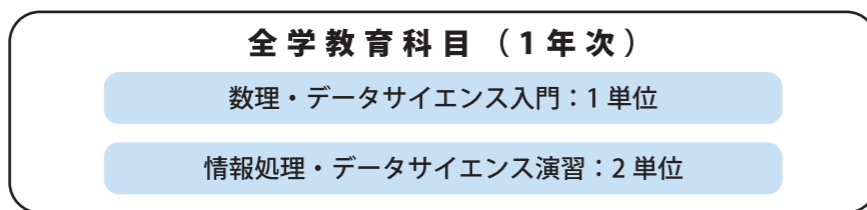
●静岡大学の数理・データサイエンス教育の概要

Society 5.0 の時代になって人間の社会的活動ともなって様々なデータが莫大に蓄積されるようになっていきます。

数理・データサイエンスは、このような社会に溢れるデータを数学の理論と統計、IT技術を駆使して社会における課題発見から解決、そして新しい価値の創造を目指した学問分野です。

高度に情報化された現代社会では、数理・データサイエンスの知識やスキルを自らの社会人生活での諸活動に活かせる人材が求められています。

静岡大学では、令和2年度の新入生から全学教育科目(教養教育)の枠組みの



中で、数理・データサイエンスの基礎概念や各概念の有用性の理解を目指す初年次の教育プログラムを提供することとしました。この初年次の教育プログラムの履修をきっかけに学生個人の専門分野での学びを深めることを狙っています。

●受講学生に聞きました Q. 令和2年度前期の受講を振り返って、いかがでしたか？

この講義がきっかけでプログラミングに興味を持ち、学習を始めました。

知らないことや知らないといけないことがこの分野にはたくさんあるのだと実感しました。今後も自分に丁寧に勉強していきたいです。

近年、データ産業の成長に伴い、今後社会で必要とされる知識や技術も変化していています。この講義を通じて、その変化に対応できるような内容を学習することができました。

情報化社会で生きていくためには、データサイエンスの知識が必要になると感じました。実際の日常生活で役に立ちそうな内容の授業や、全く知らなかった内容の授業があり、少し難しいと感じましたが楽しく学べました。

数理データサイエンスの講義によって、数理データサイエンスというものがどういう学問で、使えどどれだけ便利かというのが理解できました。今後も、この講義で学んだことを活用したいと思います。

私は大学に入学するまでデータサイエンスとの関わりが全くなかったのですが、この講義を通じてデータサイエンスの基礎、面白さなどを知ることができました。スライドや説明が非常にわかりやすく、知識がなくてもすぐに内容も理解することができました。

●数理・データサイエンス入門の授業で何を学ぶの？

令和2年度から開始した数理・データサイエンス入門は、完全フルオンラインの授業として設計されました。視聴動画は合計50本、担当した教員は、数理・データサイエンスに関する専門分野の教員33名です。単元ごとに小テストも配

信され、動画視聴と小テストを組み合わせ学習を進めます。この50本の動画は、大きく8回の授業に割り当てられ、学生は体系的に数理・データサイエンスの基礎的な学びを進めます。また、社会的にどのように活用

されているのか、数理・データサイエンス教育のニーズが理解できるよう、県内有力企業トップの方々とのインタビュー動画も配信しています(学内限定)。

授業内容の概要

大単元	小単元
導入	数理・データサイエンスの必要性 事例紹介
計算機基礎	デジタル化 文字の表現 プログラミング
統計基礎	変数 代表値 データの可視化 2変数間の関係 解析手法とその典型的用途の紹介 確率と確率分布 検定 基礎統計技術、スキル
情報理解活用	倫理的問題、データの取扱い 情報リテラシー

授業のポイントは大きく4つ

- 県内優良企業トップへのインタビュー
- 数理・DS分野を学ぶ動機づけを重視(導入)
- 社会的活用事例
- 情報倫理・リテラシーを重視

撮影風景
(教育学部 塩田先生)



授業映像の例

背景: BigTech/BigData

- テクノロジー業界4強の時価総額(2019年9月時点)
 - マイクロソフト: 1兆61億ドル
 - アップル: 1兆12億ドル
 - アマゾン: 858億ドル
 - グーグル: 845億ドル
 377兆円 ⇄ 190億ドル (42位)
- デジタルデータ量: 175ゼタバイト(2025年)

データから価値を見出すチカラ

- データは「実世界の写し絵」
- 注意深く分析することで重要な知見を得る

世界 → データ → 価値

問題発見 → データの収集・整理・分析 → 推論

詳細は大学教育センター WEBサイト ▶▶▶ <http://web.hedc.shizuoka.ac.jp/projects/mds/mds-intro/>



活躍する先輩たち

いまの仕事、静大で過ごした日々、後輩たちへのメッセージなどをお聞きしました。



子どもたちのキラキラした 笑顔が元気の源です！

このあやな
郷野 紋菜 さん
教育学部／音楽教育専修（2018年卒業）
小学校教諭

1995年生まれ、静岡県立静岡東高等学校卒。
趣味は、ピアノ演奏と旅行。好きな言葉は「笑顔満開」。

●子どもたちの成長が私のやりがい

ずっと続けてきた音楽を生かして、大好きな子どもと関わる仕事に就きたいと思っていました。大学在学中に行った教育実習で、「絶対に教員になる！」と決心。毎日、子どもたちを一番近くで見て、その成長に関わることができ、大きな喜びを感じています。

大変な面もありますが、自分が頑張った分、授業で子どもたちが積極的に取り組み、真剣に考えている姿が見られたり、「楽しかった」という声が聞けたり…形で返ってくるのでやりがいがありますね。

子どもたちは本当に可愛いです。日々の成長や、キラキラした笑顔が、私の元気の源です！

●静大の恩師とのかけがえのない出会い

静岡大学を選んだのは、地元で大好きな音楽に存分に触れ、教師になるという夢に向かって4年間過ごせると思ったからです。幼い頃から出場していたピアノコンクールの審査員を静大の音楽教育専修の教授が務

めていたことも決め手になりました。

恩師の後藤友香理先生は、音楽の事はもちろん、どんなことにも親身に相談にのってくださいました。日々の過ごし方も素敵で、憧れていました。卒業後も気にかけてくださり、ゼミ生全員、後藤先生のごことが本当に大好きです！発表会には今も毎年出演させていただき、とても楽しいです。ずっと仲良くしたいと思える貴重な友だちとの出会いも、人生を豊かにしてくれています。

●学生時代は「やりたいこと」を試そう

大学在学中は、やりたいことを試すことができる貴重な時期です。とにかく行動して、今しかできない経験をたくさんしてほしいです。きっと今後の財産になるはずです。私は、時間に余裕がある学生時代に、もっと英語を勉強して資格を取っておけばよかったなあと思っています。どんな職業でも役立つと思います。アルバイトは飲食店で丸4年、塾講師も丸2年続けました。飲食店では、お互い



ゼミの仲間と卒業旅行で訪れたベトナムで

を思いやり、周りを見ながら臨機応変に対応すること、塾講師では、生徒一人ひとりに応じた指導と準備の大切さを学びました。掛け持ちは大変でしたが、どちらの経験も今の仕事に活かしています。同じ仕事を長く続けられたことも、プラスになっていますね。

今、学生の皆さんはオンライン授業が続いていますが、早く実体験・実経験がたくさんできる授業が始まるといいですね。普段経験できないスポーツやレジャー、食文化、文化財などを学ぶ授業があれば、いろんな人と関わるきっかけも生まれると思います。

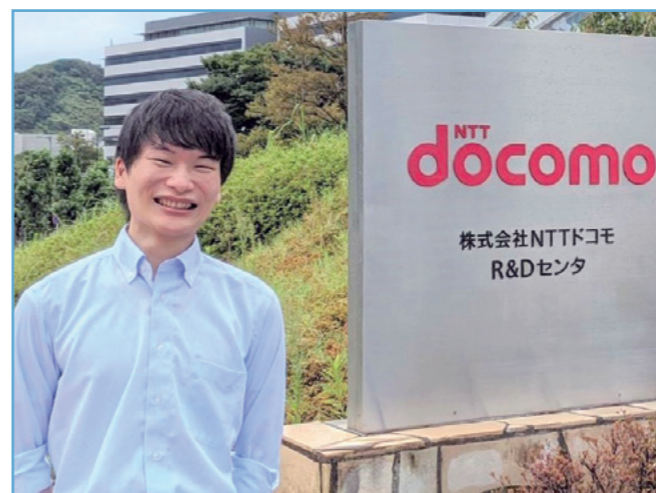
Ayana
Gono



卒業演奏会にて



沖縄にてシーウォーク中
卒業後も趣味の旅行を楽しんでいます



情報学を活かして 社会の課題を解決したい

かねだ ゆきまさ
兼田 千雅 さん
総合科学技術研究科情報学専攻（2017年修了）
株式会社NTTドコモ 勤務

1993年生まれ、浜松市立高等学校卒。
大学ではサイクリング部に所属。現在も楽しんでいる。

●自分の技術で社会課題の解決を

大学時代の集大成ともいえる研究では、「自身の技術で農業分野の課題を解決した」と実感できる結果を残すことができました。研究開発職を志望した理由も、大学時代に得た知識と経験を活かし、より社会への影響力が強い立場から様々な分野の課題解決に挑戦し、自身が思い描く世界を現実にしたかったからです。自分の技術で実際に多くの人々に影響を与えることのできる今の仕事には、非常にやりがいを感じています。

●ICTに没頭した研究室での日々

大学入学前から、コンピュータやインターネットの仕組みに興味があり、「情報通信技術（ICT）を深く学び、将来はICTを活用して社会に影響を与えられる人物になりたい」という思いから、静岡大学情報学部に進学しました。日々の授業でICTの基礎を学びつつ、研究室配属後はひたすら研究に没頭する毎日でした。研究では、情報学部で学んだICTの知識を

もとに、全くの専門外だった農業分野の課題解決に挑戦しました。

恩師は、峰野博史先生です。峰野研究室では、センサによるデータの収集、機械学習を活用したデータの分析、分析結果に基づくデバイスの制御といった実践的なICTの知識を深く学びました。この経験があったからこそ、入学前から思い描いていた理想の人物に近づくことができたと実感しています。

社会に出て、情報学という観点から社会課題の解決に取り組みたい人にとっては、統計学や機械学習などのデータ分析に関する授業もとても重要だと思います。

●全国を旅して気づいた「まずは挑戦」

「今しかできないことがある」がキャッチフレーズのサイクリング部に入部し、日本全国を旅しました。重い荷物を積みながら初めての土地を長時間走る自転車の旅は非常に過酷なものでしたが、困難を乗り越えて目的地に着いた時、今まで味わったことのない達成感があることを知りました。

この時に生まれた「知らないことでも、まずは挑戦してみよう」という気持ちは、その後の研究活動や社会人生活にも活かされています。



大学時代に得た知識と経験を
活かすことのできる職場です

●「今しかできないこと」を積み重ねて

大学時代は自分の人生の中で最も色々な経験をした時期でした。授業や研究、部活動、アルバイトなど、様々な場所で学びや経験を積み重ねていくうちに、将来やりたいことが徐々に明確になっていったように思います。学生の皆さん、時間や体力があるうちに、ぜひ、たくさんの「今しかできないこと」に挑戦してください！



学会発表で行った
シンガポールにて



愛機と共に

Yukimasa
Kaneda

学生の本音

NG 課題が多い!

いつもなら週末は自由に過ごしていたのに、課題がたくさんあって、休日にも休む暇がなく大変!

GOOD 時間を有効活用できる!

メイクをしなくていいから朝の支度が楽!

1年生だったが、時間がたくさんあったので、初めての一人暮らしに慣れやすいところが良かった!

ハプニング発生

猫が侵入!
講義中に先生の猫が…とても癒やされる~!

お子さんかな?
たまに、先生の声に混ざって、遊んでいるお子さんの声とかも聞こえてきたよね(笑)

繋がらないよ~
たまに Wi-Fi や学務情報システムが繋がらなくて、あせった…(汗)

それで授業が止まってしまっていて進まなかった時もあるよね…

なんだかなあ…
なんか春休みが終わった感じも、夏休みが始まった感じもしないなあ

学生目線の GOOD NG



オンラインあるある



広報学生委員会 (SU-NOW) 企画

静大生 オンライン授業どうしてた?

4月から新しい生活のスタート!…と思いきや、コロナ禍で対面授業の延期と初めてのオンライン授業の導入。から改めて振り返り、よりよい活用を探していきたいですね!

人文社会科学部

- 今までテストのみで評価されていた学科でも、期末はレポート:オンラインテスト=9:1 書籍を読んでその考察や感想を述べる課題も!
→在宅ならではの授業と感じた!
- メールでの質問も、早い返答でありがたかった!
- オンラインテストでは、学情のサーバーがダウンしてしまい、急遽レポートに変更されたものも!
- レポートは時間をかけられるのでよかったが、しっかり準備してきた人にとっては残念(泣)

地域創造学環

- 例年は、フィールドで調査する授業が多いのですが、今年はフィールドワークができず
→来年度の活動成果発表がどうなるのかを心配する声も…
- フィールドワークに代わった調査をする授業や、例年とは違ったシステムや手順を採用している授業もある
→今年度ならではの授業!

教育学部

- もともとディスカッションをする機会が多い学部なので、みんなと直接会えない中では、Zoomを使ってディスカッションをすることも!
→しかしその頻度は減少…
- 模擬授業を自宅で撮影して、その動画をオンラインで共有してディスカッションする授業が印象的!
- 普段は送られてくる資料をもとに勉強
→資料が100枚越えのえげつない量のと きもあり大変だった…

情報学部

- オンデマンドやZoomを使う授業など形態はさまざま! Teams, YouTube, Power Pointなどが使われることも!
中でもPowerPointだと一時停止や早送りができないので少々不便…
- 先生によっては、質問のある人などが自由参加できるミーティングも用意されているようです

理学部

- 白衣を着て保護メガネを装着して、何やら危なげな実験をしているイメージの理学部! ですが今年は積極的な実験が実施できず…
- 通常の実験は、みんなで同じ器具を触ったり、顕微鏡をのぞいたり、ヘルメットをかぶったりと、共同実験はソーシャルディスタンスが保てません!
→対策として、資料をもとにレポートの作成のみを行う形態に
- 学科や学年によっては、人数や時間を制限して実験しているところも!

工学部

- 研究室に所属している4年生にとっては、オンデマンド方式の講義はいつでも受講可能なため、講義のためにいちいち研究室を抜けることがなくなった
→オンデマンド方式の講義は、研究室活動にとっては好都合
- 先生と意思疎通が図りにくいのが残念

農学部

- 実験の待ち時間が減り、待ち時間の有効活用が可能に!
- 研究室に所属している4年生は、対面授業が始まるまでの約2ヶ月の間研究ができず、のっけから遅れが…
→卒論が間に合うか心配…
- 研究室に行けるようになった今も、ソーシャルディスタンスを保ちつつの実験
→実験器具などを机の上に広げられるのはかえって便利かも!

先生の本音

オンラインではチャットなどで気軽に発言や質問ができるのは良い点ですね

動画や録画は共有しやすく、教師としても自分の授業の確認や反省ができます

Zoomなどで顔を見ながら授業を行うと、全員が最前列に座っている気分なので、緊張が維持されるのではないのでしょうか

動画配信の授業でも、対面授業と同じ時間に視聴してくれると嬉しいですね

様々な人をゲストとして呼びやすいことが大きな利点です

準備は大変ですね
動画を撮るときも、学生の反応がないと、やりにくいし、取り直しも大変です

どのように学生同士の意見交換の機会を作ろうか悩みどころです

Wi-Fi 環境や動画の撮影・配信の設備を整えておくのも大変!

議論の雰囲気や流れ、学生の細かい表情の変化が伝わりにくいです

テレワークとそうではないものを区別することで、より有効に活用できるのではないのでしょうか

人文社会科学部 社会学科 人間学コース文化人類学分野



フィールドワーク実習でのインタビューの様子



専門書がずらりと並ぶ実習室の本棚



年に数回、慰労会や親睦会をします

分野説明

文化人類学（通称文人）はフィールドワーク調査（現地調査）を通して人の暮らしに寄り添いながら、その地域の文化や慣習などを明らかにする学問です。文化人類学を学ぶことで、自分が「当たり前」と思っていた価値観・常識を問い直すモノの見方を身に付けます。

メンバー

教員（2名）、大学院生（3名）、
研究生（2名）、4年生（4名）、
3年生（12名）、2年生（10名）

卒業後の進路

公務員（市役所、県庁、労働局、
裁判所事務など）、介護福祉、映像
制作、製造小売業、蔵人（酒造業）
など



教員の紹介

山本 達也 准教授

専門分野 インドおよびネパール在住チベット
難民若年層に関する文化人類学的
研究

好きな学者 アルジュン・アバドゥライ、ヴィーナ・
ダス、ガッサン・ハージ

好きな本 森達也『クオン・デ』（2007、角
川文庫）

**学生が 疑問が出た際には、学生に助け舟
知る素顔** を出しつつ、自ら考える機会を与
てくれます



カマンダウのチベット系 CD 屋

\\ 卒業生と教員で記念撮影 //



長沼 さやか 准教授

専門分野 文化人類学・中国研究

好きな学者 中国の親族研究が専門で、東ア
ジアのマクドナルドの現地化に注目
したジェームズ L. ワトソンさん

好きな本 沢木耕太郎『深夜特急』（全6巻、
1994、新潮文庫）

**学生が 先生との会話から、普段から学び
知る素顔** をリンクさせて考えることを意識するよ
うになりました



中国広東省にて、友人の娘さんと

文化人類学分野では何ができるの？

人文社会学部社会学科では、1年生の最後に専門
分野を選び、2年生から専門分野に所属します。
2年次は、文献講読を通して理論や方法論を学び、
調査計画を練り、3年次にフィールドワークと報告
書作成、学生研究発表会をします。それを経てか
ら4年次に卒業論文を各自で執筆します。



入門書から専門的な文
献まで！議論をしなが
ら理解を深めます。

1年生

・専門分野決定

2年生

・専門分野所属
・文献講読
・フィールドワーク
方法の学修
・調査計画

3年生

・フィールドワーク
実習
・報告書作成
・学生研究発表会

4年生

・卒業論文執筆

フィールドワーク実習について

3年次には、静岡県内の調査地でフィールドワーク
実習を行います。フィールドワーク実習では、私た
ちが調査したい人々や地域を決めて、そこで実際に
泊まり込みながらインタビューなどを通じて調査を
します。調査後は、その内容を報告書にまとめます。

完成した報告書は、調査に協力していただいた
方々、県内の公立図書館、国立国会図書館などに寄
贈します。また、静大図書館の学術情報リポジトリ
にも登録し、オンラインで公開しています。



2019年度は清水区興津が調査地でした



実習の成果を学生研究発表会で報告します

卒業論文

現在4年生は、読み聞かせやサウナ経営、アンティーク収集、興
津川と鮎釣りを題材に卒業論文を執筆しています。このように、卒
業論文の題材は、自らの興味の赴くままに決めることができます。

過去の卒論はHPに掲載中▶ 🔍

報告書はこちらから
読めます！



学生インタビュー

4年生が2・3年生に気になることを聞いちゃいました！

1. 文化人類学分野を選んだ理由
2. 文化人類学のおもしろさ
3. 今やっている / これから楽しみなこと

2年生
袴田 竜我さん



- ① 文化人類学入門の授業を受け「こ
れだっ」と自分の学びたいことと合
致したため
- ② いろいろな人の生き方や習慣や習
俗などのあたりまえを知ることで、自
分だけの思考の枠組みから抜け出
せるところ
- ③ 泊まり込みのフィールドワークがした
い

3年生
鈴木 明日香さん



- ① 一人で机に向かうだけでなく人と関
わる事が出来るから
- ② 「こうでなければならぬ」という話
に、「これでもええんちゃう？」という
考えを持たせてくれるところ
- ③ コロナ禍での大学生と在宅授業 /
浜松まつりなどの「伝統」の背
景に興味がある



静岡大学での活動や研究が表彰されました

●内閣総理大臣表彰を防災総合センター 岩田孝仁 特任教授が受賞

岩田特任教授は長年に渡り、国の防災に関する委員を多数務めるとともに、東海地震の想定域で富士山もある静岡県で防災・危機管理業務に従事し、防災学の飛躍的な発展、専門教育プログラム作成支援、地域防災力の強化に多大な貢献をしてきました。石井潔学長は「受賞は本学にとっても大変名誉なこと。これを機に防災政策の専門家として、さらに多方面でご活躍されることを期待しています」と祝辞を寄せました。



総理大臣官邸で開催された表彰式

●科学技術賞(研究部門)を電子工学研究所 小野行徳教授が受賞

今回受賞した「電子電子散乱と電子流体のデバイス応用に関する先駆的研究」は、革新的新デバイスの創成に関するもので、電子機器のエネルギー消費を削減する技術の発展に寄与します。文部科学省が科学技術に関する研究開発、理解増進などで顕著な成果を収めた人を顕彰する「科学技術分野の文部科学大臣表彰」を受け、小野教授は「身に余る光栄。今後も科学技術発展のために尽力したい」と喜びを語りました。



木村理事(左) 小野教授(中央) 三村典興電子工学研究所長(右)

メディアも注目！ 新型コロナウイルス感染対策で発信

●「コロナをやっつけろ」～子ども向け啓発動画

教育学部の小林明子研究室は、新型コロナウイルス感染拡大で不安な日々を過ごしている子どもたちのために何かできないかと考え、法政大学渡辺弥生教授、SPAC(静岡県舞台芸術センター)の有志メンバーと「健康戦士コロタイジャー製作委員会」を結成。



英語などにも翻訳予定です。

コロナを退治するヒーローが活躍する動画「コロタイジャー」を作成し、日本教育心理学会やNHKなどでも多数紹介されました。

●コーヒーフィルターで手作りマスク

教育学部 村上陽子教授が、マスク不足で多くの人が困っていた4月上旬、コーヒーフィルターとホッチキスを使った「縫わないマスクの作り方」を考案し、発信しました。衛生的で、作り方も簡単です。中日新聞やテレビ番組などで広く紹介されたほか、カフェからも「店頭で紹介したい」と大好評です。



作り方はホームページをご覧ください。

アンケートへのご協力のお願いとプレゼントのお知らせ



静岡大学広報誌「SUCCESS」vol.24をご覧になっていかがでしたか?誌面に対するご意見・ご感想を巻末の郵便はがきにて、お寄せください。今後の誌面づくりの参考にさせていただきます。アンケートにご協力いただいた方20名様に・・・

静岡大学オリジナルボールペンを1本プレゼント!

【プレゼントご希望の方】

必ず **お名前・ご住所** をご記入の上、

2020年12月31日まで にはがきをご投函ください。



※プレゼントはなくなり次第、終了させていただきます。
※ボールペンのデザイン・色のご指定はできません。

ご寄附をありがとうございました 静岡大学未来創成基金寄附者芳名一覧

(五十音順)

静岡大学未来創成基金にご寄附をいただきまして、心より御礼申し上げます。

〈個人〉	青木 俊輔 様 泉水 朝順 様 岩井 久孝 様 梅林 裕介 様 太田 有紀 様 上手 和巳 様 熊野 善介 様 後藤 幹博 様 左口 治良 様 澤田 孝 様 菅沼 好美 様 鈴木 伸武 様 高井 和幸 様 田中 裕之 様 津村 潤 様 西田 誠二 様 長谷部 千恵 様 平田 毅 様 水本 孝治 様 村本 いくよ 様 山田 則夫 様 吉田 誠裕 様 渡邊 祐次 様	阿部 祐輔 様 市田 佳朗 様 岩田 立男 様 浦川 太作 様 小黒 源紀 様 川口 貴礼 様 桑原 士郎 様 小長谷 藤雄 様 桜井 一樹 様 柴田 知江 様 菅原 英明 様 鈴木 迅 様 高木 雅晴 様 田上 佳 様 富田 健 様 信國 喜八郎 様 原 信夫 様 福田 宏昭 様 三林 洋介 様 望月 朝香 様 山元 薫 様 吉野 勝也 様 渡利 謙太郎 様	井口 一成 様 伊藤 宜則 様 岩間 諒史 様 江崎 和明 様 小澤 華那子 様 菊池 英二 様 小池 淳 様 籠宮 一郎 様 佐藤 浩司 様 新保 俊尚 様 杉山 亜弓 様 鈴木 康之 様 高須 宏司 様 茅野 俊秋 様 永野 芳宏 様 芳賀 利允 様 原田 恵治 様 松本 隆一 様 宮脇 雅彦 様 山口 貴史 様 山本 泰寛 様 柳 敦巳 様	池谷 京子 様 井辺 博光 様 浮須 由実 様 及川 紀幸 様 柏瀬 祥一 様 草間 三郎 様 河野 陽子 様 小山 芳明 様 佐藤 朋計 様 新聞 貴宏 様 杉山 祐司 様 鈴木 康之 様 竹川 修 様 築地 柚治 様 那須 浩二 様 長谷 信昭 様 樋口 一也 様 眞野 文男 様 村井 大介 様 山崎 秀司 様 横山 華菜 様 李 洪譜 様	生駒 修治 様 今井 常弘 様 内山 秀樹 様 太田 英将 様 鎌田 章 様 久保田 花枝 様 小城 和正 様 坂下 哲也 様 佐野 賢輔 様 菅 拓摩 様 鈴木 敏弘 様 関 いづみ 様 龍山 智榮 様 坪内 里美 様 滑川 典子 様 長谷川 茂雄 様 比田井 昌英 様 三浦 智明 様 村田 憲治 様 山田 耕三 様 吉田 和人 様 渡辺 勇 様
------	--	---	---	--	--

〈法人等〉	朝日電装株式会社 様 遠州信用金庫 様 株式会社アイワークシステム 様 株式会社静岡アグリビジネス研究所 様 株式会社篠原印刷所 様 株式会社電業社機械製作所 様 静岡大学教育学部同窓会 様 静岡放送株式会社 様 シブヤパイピング工業株式会社静岡支店 様 鈴与株式会社 様 第一建設株式会社 様 トクラス株式会社 様 日揮ホールディングス株式会社 様 浜松いわた信用金庫 様	一般財団法人鎌倉フェローシップ 様 株式会社アイコービルサービス 様 株式会社エフ・シー・シー 様 株式会社静岡新聞社 様 株式会社セノ 様 株式会社静岡銀行 様 静岡大学教育学部附属特別支援学校PTA 様 静大生協学生委員会OB・OG有志 様 ジブラルタ生命保険株式会社 静岡支社 様 セキスイハイム東海株式会社 様 第51回佐鳴会全国ゴルフ大会 様 西田工業株式会社 様 パナソニック株式会社 様 有限会社島建 様
-------	--	--

※ご芳名は、原則令和2年2月1日から令和2年7月31日までの間にご寄附いただき、公開についてご承諾いただきました方について掲載しております。
なお一部、クレジット等含めご入金日により、前回掲載分に間に合わなかった寄附者の方々もあわせて掲載しております。ご入金未確認の皆様については、今後、ご入金の確認ができた次第、順次、広報誌に掲載させていただきます。
※鈴木康之様につきましては同姓同名のお二方がいらっしゃいますので、お二方も掲載しております。

静岡大学学長室
電話：054-238-4402
E-mail：kikin@adb.shizuoka.ac.jp
未来創成基金ウェブサイト
<https://www.shizuoka.ac.jp/fund/>

※静岡大学未来創成基金の詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

◆馬術部へご寄附していただいた皆様へ

本学馬術部の窮状について、大変多くの方々からご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。全国の方々からご寄附をいただき、お陰様で最悪の事態は避けることができました。いただいた寄附金は、馬術部のため、馬のため、そして部員たちが馬と共に過ごしていけるように、大切に使用させていただきます。この度は静岡大学馬術部へのご寄附を誠にありがとうございました。

馬術部顧問 河岸 洋和

誌面の都合により、皆様のご芳名を掲載することが出来ませんでした。申し訳ございません。未来創成基金のホームページにご芳名を掲載いたしましたのでご覧ください。

【ご芳名掲載ページ】 <https://www.shizuoka.ac.jp/fund/> 寄附者のご芳名/



寄附が集まったおかげで、馬も人も元気に部活を続けることができている。みなさまのあたたかいご支援、心より感謝申し上げます。

馬術部員一同